

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月12日

【四半期会計期間】 第129期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 オーベクス株式会社

【英訳名】 AuBEX CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 栗原則義

【本店の所在の場所】 東京都墨田区両国四丁目31番11号

【電話番号】 東京(6701)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 野北明臣

【最寄りの連絡場所】 東京都墨田区両国四丁目31番11号

【電話番号】 東京(6701)3200(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理部長 野北明臣

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第128期 第2四半期 連結累計期間	第129期 第2四半期 連結累計期間	第128期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	1,770,163	2,097,572	3,890,155
経常利益	(千円)	68,411	210,083	343,380
四半期(当期)純利益	(千円)	50,735	138,395	292,022
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	28,990	172,974	343,468
純資産額	(千円)	2,582,704	3,015,754	2,890,818
総資産額	(千円)	5,300,293	5,705,996	5,676,003
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	3.76	10.03	21.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	47.9	52.7	50.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	146,172	335,056	399,008
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	9,897	83,950	91,489
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	77,673	192,816	29,492
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	851,782	1,143,549	1,082,454

回次		第128期 第2四半期 連結会計期間	第129期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	4.24	3.06

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融・経済政策による成長戦略への期待感から円安・株高が進行し、輸出の回復や個人消費の持ち直し、企業業績の改善など景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、国内では、円安による原材料価格の上昇や来年4月からの消費税率の引き上げへの不安感、海外では、欧米諸国の財政問題や中国の経済成長の鈍化など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、売上の拡大、コスト削減、製品開発の強化に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,097百万円（前年同四半期比18.5%増）、営業利益は、206百万円（前年同四半期期比108.7%増）、経常利益は、210百万円（前年同四半期比207.1%増）、四半期純利益は、138百万円（前年同四半期比172.8%増）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

(テクノ製品事業)

テクノ製品事業は、円安の進行などもあり、輸出売上が順調に推移した結果、売上高は、1,653百万円（前年同四半期比26.0%増）、セグメント利益（営業利益）は、359百万円（前年同四半期比57.6%増）となりました。

(メディカル製品事業)

メディカル製品事業は、医療費抑制策の影響や公定償還価格の引き下げ、競合他社との市場競争など厳しい状況が続いております。ガイドワイヤーの販売は堅調に推移しましたが、インフューザー（薬液注入器）については、第2四半期で発生した不具合品回収の影響により、売上高は、442百万円（前年同四半期比3.1%減）、セグメント損失（営業損失）は、16百万円（前年同四半期 営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し、5,705百万円となりました。これは主に、現金及び預金73百万円の増加、仕掛品68百万円の増加、原材料及び貯蔵品47百万円の増加、その他流動資産78百万円の減少、商品及び製品64百万円の減少などによるものです。

負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ94百万円減少し、2,690百万円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債115百万円の減少、短期借入金38百万円の減少、その他流動負債24百万円の減少、支払手形及び買掛金62百万円の増加、賞与引当金19百万円の増加などによるものです。

純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ124百万円増加し、3,015百万円となりました。これは主に、利益剰余金93百万円の増加、その他有価証券評価差額金17百万円の増加、為替換算調整勘定15百万円の増加などによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加し、1,143百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、335百万円の資金の増加（前年同四半期 146百万円の資金の増加）となりました。これは主に、たな卸資産の増加49百万円はありましたが、税金等調整前四半期純利益158百万円、減価償却費96百万円、仕入債務の増加69百万円、その他の流動資産の減少63百万円などがあったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、83百万円の資金の減少（前年同四半期 9百万円の資金の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出65百万円、定期預金の預入による支出12百万円などがあったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、192百万円の資金の減少（前年同四半期 77百万円の資金の減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入100百万円はありましたが、社債の償還による支出115百万円、長期借入金の返済による支出88百万円、配当金の支払額44百万円などがあったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は36百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,463,116	15,463,116	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株であり ます。
計	15,463,116	15,463,116		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		15,463,116		1,939,834		484,958

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
昭和化学工業(株)	東京都目黒区下目黒 2 - 23 - 18	2,357	15.24
若築建設(株)	東京都目黒区下目黒 2 - 23 - 18	2,116	13.68
資産管理サービス信託銀行(株) (信託E口)	東京都中央区晴海 1 - 8 - 12 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟	1,310	8.47
(株)みずほ銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行(株))	東京都千代田区丸の内 1 - 3 - 3 (東京都中央区晴海 1 - 8 - 12 晴海アイラン ドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	677	4.37
オーベクス取引先持株会	東京都墨田区両国 4 - 31 - 11	660	4.26
石橋産業(株)	東京都目黒区碑文谷 5 - 25 - 10	403	2.61
オーベクス(株)	東京都墨田区両国 4 - 31 - 11	367	2.37
三井住友信託銀行(株) (常任代理人 日本トラスティ・ サービス信託銀行(株))	東京都千代田区丸の内 1 - 4 - 1 (東京都中央区晴海 1 - 8 - 11)	333	2.15
オーベクス従業員持株会	東京都墨田区両国 4 - 31 - 11	228	1.47
井上 幸雄	東京都町田市	204	1.31
計		8,657	55.98

(注) 1 資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)は、株式給付信託(J-ESOP)における当社株式の再信託先です。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 367,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,921,000	14,921	
単元未満株式	普通株式 175,116		
発行済株式総数	15,463,116		
総株主の議決権		14,921	

(注) 1 完全議決権株式(その他)欄の普通株式のうち、1,310,000株につきましては、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(東京都中央区晴海1丁目8番12号)へ拠出しております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式573株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) オーベクス株式会社	東京都墨田区両国 4 - 31 - 11	367,000		367,000	2.37
計		367,000		367,000	2.37

(注) 当社は、「株式給付信託」の導入に伴い、平成24年3月12日付けで自己株式1,310,000株を資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)(東京都中央区晴海1丁目8番12号)へ拠出しております。なお、自己株式数については、平成25年9月30日現在において信託E口が所有する当社株式(1,310,000株)を自己株式数に含めておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人グラヴィタスによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,098,454	1,171,552
受取手形及び売掛金	1,055,541	1,026,533
商品及び製品	221,141	156,598
仕掛品	710,303	778,716
原材料及び貯蔵品	187,002	234,543
繰延税金資産	90,431	89,305
その他	165,041	86,821
貸倒引当金	114	104
流動資産合計	3,527,802	3,543,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,951,401	1,965,783
減価償却累計額	1,289,722	1,316,755
建物及び構築物(純額)	661,679	649,028
機械装置及び運搬具	2,187,810	2,246,064
減価償却累計額	1,791,469	1,845,301
機械装置及び運搬具(純額)	396,341	400,762
土地	722,523	722,523
リース資産	114,281	65,300
減価償却累計額	102,957	53,180
リース資産(純額)	11,324	12,119
建設仮勘定	3,968	10,830
その他	346,504	353,551
減価償却累計額	263,732	276,747
その他(純額)	82,771	76,803
有形固定資産合計	1,878,608	1,872,068
無形固定資産		
特許権	10,426	9,164
その他	10,925	11,623
無形固定資産合計	21,351	20,787
投資その他の資産		
投資有価証券	140,199	164,962
長期貸付金	800	-
出資金	210	210
繰延税金資産	1,365	-
その他	140,804	139,813
貸倒引当金	35,650	35,813
投資その他の資産合計	247,730	269,172
固定資産合計	2,147,690	2,162,029
繰延資産		
社債発行費	510	-
繰延資産合計	510	-
資産合計	5,676,003	5,705,996

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	388,452	451,449
短期借入金	38,500	-
1年内返済予定の長期借入金	166,850	193,800
1年内償還予定の社債	115,000	-
リース債務	6,077	4,169
未払法人税等	46,726	23,026
賞与引当金	62,098	81,752
その他	172,137	147,936
流動負債合計	995,843	902,134
固定負債		
長期借入金	1,439,580	1,424,480
リース債務	5,653	8,482
繰延税金負債	1,550	5,811
再評価に係る繰延税金負債	36,799	36,799
退職給付引当金	296,110	311,559
負ののれん	8,673	-
その他	975	975
固定負債合計	1,789,341	1,788,107
負債合計	2,785,185	2,690,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,939,834	1,939,834
資本剰余金	496,036	496,043
利益剰余金	713,852	806,930
自己株式	191,749	192,869
株主資本合計	2,957,973	3,049,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,957	21,754
土地再評価差額金	82,312	82,312
為替換算調整勘定	3,743	19,319
その他の包括利益累計額合計	74,611	41,237
少数株主持分	7,456	7,054
純資産合計	2,890,818	3,015,754
負債純資産合計	5,676,003	5,705,996

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,770,163	2,097,572
売上原価	1,215,382	1,399,827
売上総利益	554,781	697,745
販売費及び一般管理費	455,963	491,516
営業利益	98,817	206,228
営業外収益		
受取利息	312	282
受取配当金	1,906	848
貸倒引当金戻入額	-	10
負ののれん償却額	8,673	8,673
為替差益	-	10,259
その他	3,165	3,784
営業外収益合計	14,058	23,859
営業外費用		
支払利息	20,548	14,751
為替差損	14,598	-
その他	9,317	5,253
営業外費用合計	44,464	20,004
経常利益	68,411	210,083
特別損失		
たな卸資産廃棄損	-	51,589
固定資産除却損	1,294	-
特別損失合計	1,294	51,589
税金等調整前四半期純利益	67,116	158,494
法人税、住民税及び事業税	17,288	18,339
法人税等調整額	2,942	552
法人税等合計	14,345	18,892
少数株主損益調整前四半期純利益	52,771	139,601
少数株主利益	2,035	1,206
四半期純利益	50,735	138,395

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	52,771	139,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,840	17,797
為替換算調整勘定	13,940	15,575
その他の包括利益合計	23,781	33,373
四半期包括利益	28,990	172,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,954	171,768
少数株主に係る四半期包括利益	2,035	1,206

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	67,116	158,494
減価償却費	91,911	96,888
のれん償却額	-	1,391
負ののれん償却額	8,673	8,673
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,607	15,449
賞与引当金の増減額(は減少)	10,019	19,654
貸倒引当金の増減額(は減少)	4	153
繰延資産償却額	5,895	-
受取利息及び受取配当金	2,219	1,130
支払利息	20,548	14,751
為替差損益(は益)	7,169	5,139
有形固定資産除却損	1,294	-
売上債権の増減額(は増加)	26,172	34,258
たな卸資産の増減額(は増加)	97,865	49,099
仕入債務の増減額(は減少)	89,063	69,265
未払消費税等の増減額(は減少)	39,844	14,355
その他の流動資産の増減額(は増加)	21,784	63,675
その他の流動負債の増減額(は減少)	6,031	37,817
その他の固定資産の増減額(は増加)	25,489	4,794
その他の固定負債の増減額(は減少)	5,108	264
小計	159,195	391,534
利息及び配当金の受取額	2,276	1,100
利息の支払額	20,716	15,537
法人税等の支払額	6,314	42,041
法人税等の還付額	11,730	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	146,172	335,056
投資活動によるキャッシュ・フロー		
子会社の自己株式の取得による支出	-	3,000
定期預金の預入による支出	12,010	12,002
定期預金の払戻による収入	48,013	-
貸付けによる支出	4,900	-
貸付金の回収による収入	1,100	1,220
有形固定資産の取得による支出	44,494	65,472
無形固定資産の取得による支出	1,125	927
投資有価証券の取得による支出	743	765
投資その他の資産の増減額(は増加)	4,262	3,001
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,897	83,950

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	33,500	38,500
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	42,620	88,150
社債の償還による支出	15,000	115,000
配当金の支払額	44,584	44,706
リース債務の返済による支出	8,119	5,347
自己株式の売却による収入	-	204
自己株式の取得による支出	850	1,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	77,673	192,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,993	2,804
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	55,607	61,095
現金及び現金同等物の期首残高	796,174	1,082,454
現金及び現金同等物の四半期末残高	851,782	1,143,549

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
(連結納税制度の適用) 当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	36,762千円	
支払手形	89,164 "	
その他(設備関係支払手形)	5,554 "	

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
発送費	30,127千円	37,745千円
給与手当及び賞与	183,038 "	197,726 "
賞与引当金繰入額	12,404 "	20,354 "
退職給付費用	22,715 "	25,871 "
福利厚生費	19,197 "	20,758 "
貸倒引当金繰入額	4 "	164 "
研究開発費	32,948 "	36,935 "
賃借料	20,700 "	20,871 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
現金及び預金	855,782千円	1,171,552千円
預入期間が 3 か月を超える定期預金	4,000 "	28,002 "
現金及び現金同等物	851,782千円	1,143,549千円

(株主資本等関係)

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年 6 月26日 定時株主総会	普通株式	45,350	3.00	平成24年 3 月31日	平成24年 6 月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
 該当事項はありません。

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年 6 月25日 定時株主総会	普通株式	45,317	3.00	平成25年 3 月31日	平成25年 6 月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,312,078	456,620	1,768,699	1,464	1,770,163
セグメント間の内部売上高 又は振替高				14,580	14,580
計	1,312,078	456,620	1,768,699	16,044	1,784,743
セグメント利益又は損失()	227,940	1,222	226,717	8,962	235,680

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	226,717
「その他」の区分の利益	8,962
全社費用(注)	136,862
四半期連結損益計算書の営業利益	98,817

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	テクノ 製品事業	メディカル 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,653,095	442,627	2,095,722	1,850	2,097,572
セグメント間の内部売上高 又は振替高				14,580	14,580
計	1,653,095	442,627	2,095,722	16,430	2,112,152
セグメント利益又は損失()	359,229	16,932	342,296	9,828	352,125

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
 主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	342,296
「その他」の区分の利益	9,828
全社費用(注)	145,896
四半期連結損益計算書の営業利益	206,228

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当社グループの所有する有価証券は、企業集団の事業の運営において重要なものではありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	3円76銭	10円03銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	50,735	138,395
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	50,735	138,395
普通株式の期中平均株式数 (株)	13,482,342	13,791,890

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

オーベクス株式会社
取締役会 御中

監査法人グラヴィタス

指定社員
業務執行社員 公認会計士 木 田 稔 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 藤 本 良 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているオーベクス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、オーベクス株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。